

スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称:ベスト・アルファ

マンスリーレポート
基準日 2021年3月31日

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)	
	ファンド	TOPIX配当込
過去1ヵ月間	0.16	5.71
過去3ヵ月間	1.80	9.25
過去6ヵ月間	7.99	21.48
過去1年間	24.10	42.13
過去3年間	19.93	22.15
設定来	182.23	151.12
		設定来累計
		1,300

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【ロング・ショート別構成】

	比率(%)	銘柄数
ロング	61.8	34
ショート	-31.8	44
ネット	30.0	-
グロス	93.6	-

※ 比率は対純資産総額
※ ネットはロングとショートの差引、グロスはロングとショートの合計です。

【市場別構成(ロング)】

市場	比率(%)
東証1部	46.1
東証2部	0.0
東証マザーズ	12.6
ジャスダック	3.1
その他市場	0.0

※比率は対純資産総額

【業種別構成(ロング)】

業種	比率(%)
サービス業	9.9
情報・通信業	8.3
機械	8.2
電気機器	7.3
医薬品	4.9
その他	23.2

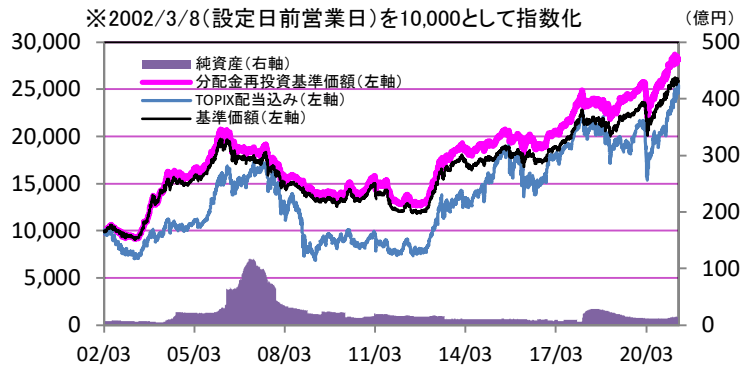
※比率は対純資産総額

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
25,898 円	25,821 円	14.13 億円

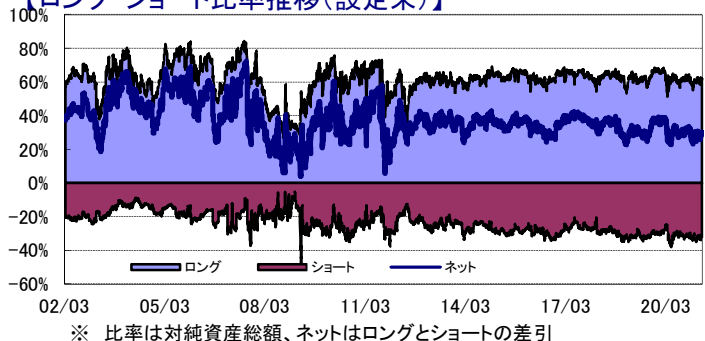
ハイ・ウォーター・マーク 25,558 円

※ 基準価額がハイ・ウォーター・マークを超えると実績報酬が発生します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
※ 当該ハイ・ウォーター・マークは、当ファンドの毎計算期間末(毎年3月10日、休日の場合は翌営業日)および毎計算期間の最初の6ヵ月終了日に更新される場合があります。詳しくは委託会社にお問い合わせください。



※基準価額は信託報酬・実績報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※当ファンドはTOPIX(配当込み)をベンチマークとするものではありません。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ロング・ショート比率推移(設定来)】



※ 比率は対純資産総額、ネットはロングとショートの差引

【組入有価証券上位10銘柄(ロング)】

順位	銘柄	業種	比率(%)
1	ギフト	小売業	4.4
2	SUMCO	金属製品	4.0
3	日揮ホールディングス	建設業	3.8
4	SMC	機械	3.6
5	DMG森精機	機械	3.5
6	UTグループ	サービス業	3.5
7	ペプチドリーム	医薬品	3.4
8	アンビスホールディングス	サービス業	3.1
9	村田製作所	電気機器	2.9
10	オロ	情報・通信業	2.8

※比率は対純資産総額

※ 上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

※ 「比率(%)」は、当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・日本株・ロング・ショート・ファンド
愛称:ベスト・アルファマンスリーレポート
基準日 2021年3月31日

ファンド・マネージャーのコメント

【市況状況】

2021年3月、日本株式市場の代表指数であるTOPIX（配当込み）は前月末比5.71%の上昇となりました。

当月の日本株式市場は、米国長期金利の上昇一服を受け、前月末の下落から反転して始まりました。その後、米国長期金利が再び上昇し、株式市場への重石となったものの、米国議会で追加経済対策の実施法案が成立したことや、新型コロナワクチン接種開始による景気回復期待から、堅調に推移しました。

月末にかけては、米国の金融緩和策の「出口」への警戒感、欧州各国の新型コロナウイルス感染症（変異株）の新規感染者数増加、米国の投資会社アルケゴス社の破綻懸念などから下落に転じ、月前半の上昇幅を縮小して取引を終えました。

【運用状況】

3月の当ファンドは、ココナラ、DMG森精機などが上昇し、パフォーマンスに対してプラスに貢献しました。

ココナラは、3月に東証マザーズ市場に上場した、インターネット上で個人のスキルや知識をマッチングさせるサービスを提供する企業です。ITを活用して個人の能力の発揮場所を提供し、自由な働き方のサポートとなるサービスに注目して当ファンドは同社に投資しましたが、時価総額が500億円を超える水準まで株価が上昇し、当ファンドが予想する数年先の売上規模の10倍以上まで評価されたことから、利益確定のために全売却しました。DMG森精機は、中国を筆頭に企業の設備投資意欲が回復基調にあることで工作機械の受注額が増加することを期待して、株価が上昇しました。詳細については、【運用方針】欄で詳しくご説明させていただきます。

一方、QDレーザ、coly、Fast Fitness Japanなどが下落し、パフォーマンスに対してマイナスに影響しました。QDレーザ、colyは2月の東証マザーズ市場上場直後に大きく株価が上昇した反動で下落しました。Fast Fitness Japanは、緊急事態宣言の解除後に新型コロナウイルスの新規感染者数が再び増加に転じたことなど事業環境に対する先行き懸念から、株価が低迷しました。

株価水準が上昇したことでグロスポジション、ネットポジションとも前月に比べ上昇しました。株価が高水準にあること、「コロナ禍」など経済を取り巻く環境は依然として先行き不透明感が高いことから、ネットポジションは当ファンドが中心的な値と考える30%程度としています。

【運用方針】

日本株式市場をはじめとして、世界各国の株式市場が堅調に推移しています。2020年から「コロナ禍」による経済への悪影響、各国政府の経済対策や中央銀行の金融支援など外部環境に大きく左右される環境が続いてきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大開始から1年が経過しましたので、再び基本に立ち返って収益性やROE（株主資本利益率）に代表される資本効率など、個別企業の特性に基づいた投資の重要性が高まると考えています。一時的な状況に惑わされることなく、「ビジネスの良し悪し」をしっかりと判断し、ロングポジション、ショートポジションそれぞれの投資機会を捉えてまいります。

当月は当ファンド組入銘柄の「DMG森精機」についてご紹介します。

同社は日本の森精機とDMG社（ドイツ）が2009年に資本業務提携を行い、2016年にDMG社を完全子会社化したことで誕生した世界シェアトップの工作機械メーカーです。

当ファンドは、次の三点に注目して同社を評価しています。

一点目は経営力です。

100社を超える企業が名を連ね大企業化に遅れる日本の工作機械業界で、1999年の社長就任以降に複数の日本の工作機械メーカーを傘下に加え、さらにDMG社と完全に経営統合するなど、世界規模での業界再編を先導する社長の森雅彦氏のビジョンと行動力を高く評価しています。

二点目は次世代技術への取り組みです。

欧州地域をはじめ世界の加工技術トレンドをいち早く取り入れ、複合5軸加工機を他社に先駆けて展開してきたことや、世界トップクラスの企業規模を活かしてIoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）に代表されるデジタル技術を積極的に取り入れたことで、将来的な同社の製品力は、技術者などの経営資源に限りがある中堅以下の工作機械メーカーと比較にならないほど技術格差が広がると考えています。

三点目は需要地域、顧客属性の分散による業績安定性の改善です。

日本市場の売上構成比が高い「森精機」に、欧州に地盤を持つDMG社が加わったことで、地域別売上構成の平準化が進みました。同時に顧客の産業特性や顧客の企業規模の面でも分散が進んだことで、工作機械産業に特有の需要の変動が緩和されつつあります。長期的なビジョンで設備投資や営業投資を行えることは、同業他社と比べ大きな優位点と考えます。

これら三点から、当ファンドは「変動の大きな工作機械業界の中で着実に成長を積み上げていくことが期待できる企業」として長期的な観点で、同社に投資しています。

ショート投資では、電子署名サービスを展開する企業A社への投資比率を高めました。印鑑やサインといった紙ベースの業務がデジタル化する大きな流れはあるものの、同様のサービスを安価で提供する企業が追随しており、株式市場が織り込むA社への評価は過大であると当ファンドでは判断しています。2021年は昨年までにDXを推進する企業、デジタルベースのサービスが高く評価された企業の真価が問われる年になると考え、企業価値の真價をしっかりと見極める方針です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等については当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。